



プラスチック添加剤「PLAFIT®」のご紹介 ～ポリオレフィン/ガラスフィラーへの添加効果～

つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社

「PLAFIT D430H」 ポリオレフィン／ガラスフィラーへの添加効果

高分子量プラスチックやフィラー高充填のプラスチックは流動性が低く、成形性に課題がありました。

「PLAFIT[®]」はプラスチックの機械物性を維持して流動性の向上が可能です。

小型、薄肉部品の成形性向上や低温での射出成形への適用が期待できます。

ポリプロピレン（90％）／ガラスフィラー（10％）への添加効果（混練：190℃、射出成形：200℃）

コンパウンド		MFR	引張強度	曲げ強度	曲げ弾性率	シャルピ [°] -衝撃強度
BLANK (流動性向上剤未配合)		100% (8.9g/10min)	100% (56.1MPa)	100% (76.6MPa)	100% (2550MPa)	100% (4.9kJ/m ²)
PLAFIT D430H	1.0部	129%	99%	99%	100%	96%
	3.0部	152%	99%	99%	102%	92%
脂肪酸アミド	1.0部	136%	95%	89%	91%	96%
	3.0部	140%	89%	86%	86%	94%
ポリオレフィンワックス	1.0部	102%	97%	91%	92%	98%
	3.0部	130%	95%	86%	86%	96%